

令和 4 年度活動総括

第 1 号議案①

コロナウイルス感染対策を取りながらの活動となりましたが、一部の活動を除いて、プログラム通りの活動が出来ました。その結果、会員の脱会者も減少し徐々に入会者も増え 600 名弱とまで回復しました。また、会員の高齢化が顕著になり、運営スタッフの確保が難しくなってきました。

大学と地域の協働、CCT 会員自身がこのクラブを支えると云う自覚（認識）を持った上での活動がより一層大事だと云うことが再認識させられました。「みんなで創る、皆で支える」CCT の肝です。

1. スポーツ部会：太極拳・太極剣・気功を除き大学の諸施設と大学外の公共施設を使用して、コロナ対策を遵守し活動をした。
 - (ア) 中学校部活動の地域移行対策として、勝山中学校と連携して、勝山スポーツ教室（硬式テニス・陸上・野球）を開始したが、陸上については十分な活動が出来なかった。（CCT での位置づけはちびっこ運動教室、Jr テニス教室、一の宮金管バンド等々と同様に、地域児童の育成事業の一環としての取り組みです。）
 - (イ) スポーツフェスティバル IN 下関は、3密対策をした中で、巣ごもりから解放され、スローエアロビック・ぶんぶんカップ等の新しい種目にも挑戦し、老若男女問わず参加できる形で実施された。
2. 文化芸術部会：座学が中心の活動は、一定期間休止となったプログラムもあったが、大学の施設外の公共施設を利用して、出来る範囲で活動を継続した。
 - (ア) 金管バンドの（小中/一般）部は、小学生から中学生・高校生へと継続性が生まれ段階的に勝山地域の「金管バンド」へと発展させていきたいと思って活動してきましたが、部員が集まらず、初期の目標が達成できなかった。
3. 広報部会：活動に合わせ HP の更新は行ったが、瓦版は合併号の発刊となり、月刊誌としての維持が出来なかった。
4. ふれあい部会：バス旅行は休止となったが、CCT 祭り・健康ウォーク等は感染対策を考慮し、開催され会員の親睦を図る活動を行った。

令和 5 年度の活動計画

第 4 号議案

1. マスク着用は個人の判断に委ねられるものであるが、引き続き「3密の回避」、「人と人の距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行をお願いし、従来通りの活動を目標とします。（令和 5 年度プログラム参照）
2. スポーツ部会：スポーツフェスティバル IN 下関は本年度も実施します。 10/30 予定、日曜日
 - (ア) 地域児童の育成事業（休日部活動を含め）を推し進めます。
3. 文化部会：「一の宮金管バンド」は本年度も小学生対象に一の宮小学校で活動するが、「金管バンド」（小中/一般の混合部・毎週土曜日・東亜大学 7 号館 6 階）は廃部とします。
4. ふれあい部会；CCT 祭り、健康ウォキング等は実施します。但し、バス旅行は、今後のコロナ感染状況を勘案し実施の有無を決めます。 11/12 CCT 祭り 予定 バス旅行は秋 10/7(土) 予定
5. 広報部；広報の重要性に鑑み、HP は最新情報に適宜更新、瓦版はコロナ前の月刊誌としての発刊をめざします。原稿の寄稿をお願いします。

※CCT 設立満 18 年となり、この会の基本理念「みんなで創る、皆で支える」が希薄化している感じがします。今一度基本理念を思い起こし、会員の皆様が事務局員・世話人・部会委員・運営委員と出来る範囲で積極的に参画し、より良い・楽しい会に育てて行きましょう。

学習支援の再会